



2020年1月31日

各 位

会社名 アオイ電子株式会社
 代表者名 取締役社長 中山康治
 (コード番号 6832 東証第2部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 青木良二
 (TEL 087-882-1131)

業績予想の修正および減損損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年8月2日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。また、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)において、固定資産の減損損失の計上を行う見込みとなりましたので、併せてお知らせします。

記

1. 2020年3月期 通期の連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 41,500	百万円 2,400	百万円 2,500	百万円 1,770	円 銭 147.51
今回修正予想(B)	42,200	3,200	3,200	1,800	150.01
増減額(B-A)	700	800	700	30	
増減率(%)	1.7	33.3	28.0	1.7	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	42,777	3,289	4,038	2,277	189.77

2. 修正の理由

2020年3月期の売上高は、第3四半期以降、携帯情報端末部品の需要が持ち直していることに加え、在庫調整にも進展がみられ42,200百万円(前回予想比700百万円増)となる見込みであります。利益面においては、自動化による生産性向上や工場稼働体制の変更による経費削減等により、営業利益は3,200百万円(前回予想比800百万円増)、経常利益は3,200百万円(前回予想比700百万円増)となる見込みであります。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記の減損損失の計上により1,800百万円(前回予想比30百万円増)となる見込みであります。

3. 減損損失の内容

米中貿易摩擦の長期化や地政学リスクの高まりによる世界経済の減速など経営環境の不確実性を踏まえ、今後の事業計画および回収可能性を勘案し、当社が保有する固定資産（生産設備）について減損損失 650 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

特に、中国において発生した新型肺炎によるサプライチェーンの分断や、製品需要の急激な低下については、本業績予想には反映しておりません。

以 上